

いよいよ芸術の秋のスタートです。綺麗な満月を横目にお団子を…。綺麗な満月を観ながら、ほんのついでにお団子を…。遠目に見ればあんなに綺麗な月も、近くで見ると様々な表情を見せてくれます。まさに、月次決算書ですね。

そこで今回のテーマは、「社長、月次決算書を見直しましょう」の回です。御社の月次決算書とお団子をご用意くださいませ。

< 月次決算書をもっと可愛がって下さい！！ >

赤鉛筆で原始帳票にチェックしながら、PCの画面を見つめてツブツブ独り言…。そうかと思えばおもむろに電卓を叩いてみたり。自作の月次監査ファイルを書いている手が止まったと思えば、社長や経理担当者の方に細かい(笑)質問をさせて頂いたり…。またしばら(PCを見つめていたかと思えば、頷きながら立ち上がり、A3の紙を持ってニコニコしながら近寄って来ます…。そして一言。「社長、今月の月次決算書のご報告をさせて下さい！！」

1. 貸借対照表(バランス・シート、B/S)

御社の監査担当者がお出する月次決算書の中で、おそらく一番最初にお見せする帳票です。

社長、今月は 円の利益が出ていますよ。先月までの利益と合算してみると、期首からは 円の利益です。利益がこの位出てくると、法人税を 円差引いても、税引後の利益として 円会社の体力、内部留保が出来そうですね。

社長、今日は、もう一回この貸借対照表の役割を確認させて下さいね。

この貸借対照表は大きく分けて2つのブロックから、少し細かく分けると3つのブロックからできているんですよ。まず、2つに分けてみます。この貸借対照表を社長から見て真ん中から右半分に、会社の元手をどこから、いくら調達してきたかが書かれています。ちなみに会計の世界では、右側を「貸」方(かしかた)って名前と呼んでます。

それでは、次は真ん中から左半分を見て下さい。こちら側には、右半分が調達してきた元手が今どんな姿をしているかが書かれています。会計の世界では、左側を「借」方(かりかた)って名前と呼んでるんです。向かって右側ブロックと向かって左側のブロックのそれぞれ一番右下の金額を見て下さい。…… 円で、同じ金額でしょう？これは、現時点において「貸」方で 円調達して来られてて、その元手を「借」方でこのように運用してますよ。という「財政状態」を、貸借対照表は表しています。「貸」と「借」が同じ大きさで、均衡しているので「貸」「借」対照表、バランスシートって言うんですよ。

次は、もう一つブロック分けしてみます。真ん中から向かって右側を元手の調達先別に上下に分けてみましょう。土台となる下側が、会社の内部から調達してきた元手です。このブロックには、出資した金額や、今までの利益、内部留保が入っています。内部からの調達ですから「自己資本」って呼ばれたり、最近「純資産」という名前に改名したのですが、いわゆる「資本」です。もちろん返済義務も通常はありません。

自己資本の上に乗っかっているのが、会社の外部から調達してきた元手の「負債」です。他人からの調達なので「他人資本」って呼ばれています。他人から借りてきているので、ゆくゆくは返していかなければならないのですが、上から順番に返済期日が早く、現金流出が待ち構えているんです。という事は、元手の調達はなるべく「貸」方の下の方にある項目で行うと会社の安定性、安全性から見ると良いことですよ。…と言うことは、自己資本を大きくすることが会社を安定させるっていうことになるんです。

ところが、中小企業が自己資本を大きくする方法は、「増資」と「税引後利益の内部留保」の2つしか無かったんですね？現実的に考えると、「利益を出す」ことが唯一会社を安定させる方法ということになりそうですね？…と言う事は、税金は、会社を安定させる為に支払う「最後の経費」と考える事ができますよね！……良く言いすぎでしょうか？

貸借対照表上では、財政状態の他にも、大事な事が分かります。稼いできた利益がどこに行ったのか、何に姿を変えたのか、資金繰りの改善のヒント等々…。売上債権の回収状況や、在庫のバランス、減価償却と借入返済額の関係等、月次決算書をご報告させて頂いている際に、色々な観点から担当者に質問してみたいと思います。

貸借対照表

流動資産	流動負債
	固定負債
固定資産	純資産

損益計算書

売上	売上原価	
	粗利益	人件費
		経費
	(当期利益)	

2. 損益計算書(プロフィット・アンド・ロス・ステイメント、P/L)

貸借対照表は、ある一定時点(月末・期末)における財政状態を表していました。それに対して、損益計算書は、会社の自己資本に影響を与える「期間損益が、どのようにして生まれて来たのか」を表しているのです。言うならば、貸借対照表は会社の月末・期末の記念写真のようなもので、損益計算書は日々のムービー録画のようなイメージです。それでは、実際に損益計算書をご覧ください。

社長、損益計算書には、5つの利益が載っているんですよ？
売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、(税引後)当期純利益です。ここでは、これら5つの利益について確認させて下さいね。
売上総利益は、売上高から売上高を獲得するために直接要した売上(製造・工事)原価を差し引いたもので、粗利とも呼ばれます。この売上総利益を使って、売上総利益の下に記載されている会社の固定費を賄っていきんですよ。
営業利益は、固定費を賄った後の利益の金額で、本来の営業活動の結果によって生み出される利益です。この利益が出ているという事は、粗利が十分に稼げていたということになります。
経常利益は、借入利息や付随収入など本来の営業活動以外の損益を考慮した後の利益の金額で、特別な事柄が無い状態、つまり経常的な会社の利益を表しています。
税引前当期純利益は、固定資産の売却や災害による損失等の特別な事柄を考慮した後の利益で、法人税の課税対象の基となる利益です。
当期純利益は、法人税を考慮した後の利益で、会社の体力の源となる利益です。

社長、損益計算書をもう一度上から下までサッと目を通して見て下さい。

それぞれの利益の金額は社長の予想通りでしょうか？利益率は狙い通りでしょうか？固定費の額は予算内でしょうか？営業利益の改善は、売上総利益を改善するか、固定費を削減するかは方法がございません。売上総利益の改善は、売上高の増加か、原価の額の改善しか方法がございません。このように、これらの利益の金額を改善したい場合は、その利益金額より上に記載されている項目に改善を加えていく必要があります。社長、会社を強くするために、今日以降はどこに手を打っていきましょうか！

3. 附属資料による、ポイント把握

月次決算報告の基本の帳票は貸借対照表と損益計算書の2枚です。会社の財産や損益の状況を推移的に確認したり、必要売上高の把握の為に限界利益(売上高 - 変動費)の考え方をういた帳票も使用していると思います。経営計画を策定されたお客様には、毎月の実績数値と予算数値の比較検証、行動計画の実施確認も併せてさせて頂きます。このように、会社の状況や必要性に応じて、担当者は少しでも分かり易い資料を用意して意気揚々と報告に臨んでおります。

「ここが分からない」「こんなことが知りたい」財務や税務に関する質問を監査担当者にどンドンしてやって下さい。正しいご返答をさせて頂くため、宿題にさせて頂く場合もございますが、社長が月次決算書に少しでも興味を持って頂けるのであれば、何度でも何度でも、喜んでご説明させて頂きます。

4. まとめ

経理は会社経営にとって非常に重要な仕事です。決算書を作るのは会社の義務であり、決算書を創ることは社長にしか出来ない仕事なのです。税理士事務所には、それをサポートし、会社の経営をよりよいものにしていくお手伝いをさせて頂きたいのです。

分かり易い月次決算書が、スムーズに、早く提供できますように、経理改善のご相談も承っております。どうぞ、担当者にお問い合わせ下さいませ。

< 経営計画書作成セミナー:VISION >

毎月開催中の経営計画書作成セミナー:Vision

今月の開催日は**9月15日(木)**です。企業は継続することが一番難しく、老舗といわれる企業でも1年として同じ年はなく経済環境、お客様のニーズ等の変化に合わせた戦略を常に考え続けているからこそ今があるといわれています。毎年、参加して下さるお客様も増えてきました。まだ**VISION**にお越し頂いていないお客様、一度**VISION**に参加してみませんか？10月以降の日程は右のとおりです。対象月以外でも参加は可能です。

開催日	対象者	申込期限
10月13日(木)	8・9・10月決算法人様	9月30日(金)
11月17日(木)	9・10・11月決算法人様	11月 4日(金)
12月 8日(木)	10・11・12月決算法人、個人事業主様	11月25日(金)



< 9月カレンダー >

12	月	*8月分源泉所得税・住民税特別徴収額の納付期限
15	木	*経営計画書作成セミナー:Vision
30	金	*7月決算法人の確定申告・納付期限
		*1月決算法人の中間申告・納付期限
		*消費税(4期)の納付期限(年額額400万円超の4・10月決算法人)

< 不動産所得に対する情報 >

不動産所得に対する税務調査を強化するとの情報がございます。調査や問合せの連絡が税務署より入りましたら、まずは当事務所までご連絡下さいませ。税務署との日程の調整やご返答は、当事務所よりさせて頂きます。